

キシウナキリスゲ

Carex nachiana Ohwi

カヤツリグサ科
Cyperaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 IB

選定理由 国内での分布域は狭い。県内の生育地は極めて希である。露出した崖地や林縁に生えるため、河岸工事や道路工事などによる絶滅の危険性が高い。

県内分布 豊後水道域，石灰岩地域

分布域 本州(和歌山・山口) 四国 九州(福岡・大分・宮崎・鹿児島)
中国

生育環境 低地の崖地や林縁。石灰岩地。

現 状 採集された標本で生育地は不明であったが、ごく最近、生育地が確認された。

ヤチカワズスゲ

Carex omiana
Franch. et Savat.

カヤツリグサ科
Cyperaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 過湿な湿地に群生し、しばしば湿原群落の優占種となる。県内分布は狭く、湿地の生育環境の変化や草地開発に伴って、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 玖珠丘陵地・山地，九重火山群

分布域 北海道 本州 四国 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
南千島

生育環境 低山地や山地の水湿地。

現 状 低山地の湿地では、草地開発などで消滅した所がある。また、水の供給が悪くなって乾燥化し、生育環境が悪化している所もみられる。

備 考 北方寒冷地要素の植物。九州は、分布の南限域にあたる。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]

コハリスゲ

Carex onoei Franch. et Savat.
var. *krameri* Kükenth.

カヤツリグサ科
Cyperaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 県内では山地の湧水湿地に生え、生育範囲は狭い。周辺地の植生遷移の進行や風水害による生育環境の悪化が懸念される。

県内分布 (九重火山群)，祖母・傾山地

分布域 北海道 本州 四国 九州(大分・宮崎・鹿児島)
朝鮮半島

生育環境 山地の湧水湿地。

現 状 大水による崩壊で、消失した生育地がある。「九重火山群」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。